

R I 第 2820 地区

THE WEEKLY REPORT

水海道ロータリークラブ



2006 - 2007年度 テーマ

心の中にロータリーを

地域と共に

2006-07 年度 国際ロータリー会長
ウィリアム・ビル・ボイド

次回例会予定

5月23日 外部卓話

5月30日 休 会

VOL. 44 No.35 (通算No.2118)

2007年5月16日(水)例会プログラム
点鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

外部卓話 松崎靖司様



新会員 和田芳夫会員 二本松恭行会員

2006 - 2007年度 会長 松村仁寿

幹事 青木正弘

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

例会報告 Vol 44 No.34 (No.2117) 5月2日(水)晴れ (司会石塚克己委員長)

本例会での主な事項

会長挨拶 松村仁寿会長
新会員挨拶
地区協議会報告

ピジター

新会員 和田芳夫様
二本松恭行様

誕生祝



会員

熊谷 昇会員
青木清人会員
登坂 寛会員

配偶者

草間会員 大串会員
青木(全)会員

諸報告

親睦活動委員会 (北村英明委員長)

第37回市民チャリティーゴルフ大会の案内が届いています。
5月21日(月) 水海道ゴルフクラブ 回覧いたします。
当クラブ親睦ゴルフ大会 5月17日(木) 水海道ゴルフクラブ

次年度より (大串 卓会長エレクト)

5月16日(水)クラブ協議会を開催します。
午後6時30分より 糺屋
2007 - 08年度事業計画を5月30日までに提出お願いします。

幹事報告 (青木正弘幹事)

週報受理なし
例会変更通知受理なし

2006 - 07年度 まだ、一部完了していない事業もあるかとは思いますが、事業実績報告を5月30日までに提出お願いします。



新会員紹介



和田芳夫会員



昭和17年3月7日生まれ

(株)京まるん水海道工場 代表取締役社長

〒303-0041 常総市豊岡町乙 1700

TEL 0297-24-0892 FAX 0297-24-0530

只今ご紹介を頂きました京まるんの和田と申します。今回ご推薦を頂き入会させていただきました。

水海道という土地には長いご縁がありまして、当初工場は水海道駅前であり、現在のところに移転しました。食品お菓子の原材料の加工をしております。

今後とも宜しくお願い致します。

二本松恭行会員



昭和22年6月24日生まれ

(有)アールネット 代表取締役

〒310-0012 水戸市城東 1-5-46

TEL 029-222-3388 FAX 029-224-6678

只今ご紹介に預かりました二本松恭行でございます。今、水戸を中心に頑張っております。以前ゼネコンにありまして、技術屋25年営業10年。茨城県に来て29年になりますが、殆ど地元には寝に帰ってくるといふサラリーマン時代を過ごしており、地元との交流がありませんでした。今回ご推薦によって、伝統あるそして格式の高いロータリークラブに入会させていただきました誠に有難う御座います。現在環境問題が叫ばれる中、環境塗料(遮熱効果のある塗料、工場等においてはアスベストの含まれるスレートを封じ込める塗料)ということで試行錯誤した結果、社会に貢献できるのではないかと頑張っております。今後とも宜しくお願い致します。

会長挨拶 (松村仁寿会長)

本日より仲間になりましたお二人の職業分類と委員会を申し上げます。

和田会員 食品製造で親睦活動委員会

二本松会員 建築塗装で親睦活動委員会 宜しく申し上げます。



[会員としての特典]

ロータリークラブ会員は、長い歴史のうえに育て上げられてきた『奉仕の理想』の推進者となります。たとえ本人が希望してもなれません。ロータリークラブの会員によって承認され、初めて会員となるのです。

ロータリークラブ会員は、ロータリアンとして尊敬され、国際ロータリーの徽章、バッジまたその他の徽章を着用する権利を与えられます。ロータリークラブ会員は、入会と同時に世界のロータリアンと友達になれます。日本は勿論、世界中のクラブの例会や地区大会、国際大会などに出席できます。

ロータリークラブ会員は、あらゆる職業のロータリアンとの親睦を通して見聞を広め、品性を磨き、奉仕の道を開く事が出来ます。

[会員として]

出席……例会への出席は、ロータリアンとして最大の義務である。100%が望ましいが、60%までは認められている。ホームクラブへの出席を最優先とする。

メイクアップ……やむを得ずホームクラブを欠席する場合は出席率を補う目的で、ホームクラブ例会前後2週間以内に他のクラブの例会に出席する。他のクラブの人々と親睦を深めることにも役立ちます。

主な行事への参加……国際大会……年一回世界各地で開催され、世界中のロータリアンが集います。

ガバナー公式訪問……地区ガバナーがクラブへ公式に訪問します。クラブ例会、その他行事に参加します。

地区大会……年一回地区内各地がガバナー主催で開催されます。地区内はもとより海外友好地区、近隣地区のロータリアンが参加します。

インターシティミーティング(IM)……分区内の会合です。情報交換と親睦を目的とします。

情報集会(インフォーマルミーティング)……クラブ各種委員会、入会年度別等で随時行われます。

各種委員会活動……所属する委員会の活動に参加します。

その他……各種記念行事へ参加します。

心を開いて友人を作ろう

さまざまな集会に参加する意味は、友達ができること。いろんな問題があれば相談しよう研究会をやる。それには広い人脈をもつことが世の中を切り開いていくために非常に大事な時代になってきた。

修道院で一番大事な場所は食堂である、修道士が一堂会して食事をすれば、たとえ沈黙の時間であっても、お互いに心が開け兄弟である実感が湧いてくると教えられた。

ロータリークラブの例会は毎週会員同士が食事を共にして、お互いが心を開いて語り楽しみあう場であり広い人脈づくりの大切な場であり、世の中を切り開いていくために知恵を分かち合う場といえるであろう。

知恵は暇から生まれる

私たちの暇とは、忙しい時間の中の1~2時間をさいて自分の時間を持つことであろう。ロータリーでよく開かれるシンポジウムは、ともに酒を酌み交わすという事なのである。

シンは「共に」、ポーシスは「飲む」でギリシャ人は酒を酌み交わし学問、芸術、スポーツなどあらゆることを話し合いながら知恵を出し合った。スクール、スカラーは、ギリシャ語のスコーレからきていて暇のことである。暇を作り、心を楽しませながら会話し、食べたり飲んだりすることで本当の知恵が生まれる。

ギリシャ、ローマ以来、優れた学問や芸術を生んできたのは、暇のある人たちであった。リッチというのは

単にお金持ちというのではなく、自分なりの時間をもって絵を楽しむ、スポーツに励む、自分を磨く、あるいはロータリーで活躍する。そんな自由な時間をもって知恵を大切にということが今後を生きるうえで大切なことであろうと思います。

ロータリークラブのなかにある大切な要素、友情、自己研鑽、人のために尽くす、知恵を出し合う、相談してよい方向を目指す、学ぶ、伝える、笑う、共に行動するなどを考えながら、ロータリーが私たちの人生に大きい役割を果たしている事強く感じるのである。

地区協議会報告

会長部門 大串 卓会長エレクト



4月30日、地区協議会にいつてまいりました。午前中に全体会、午後には各分科会が行われました。

全体会では、井上ガバナーエレクトの次年度方針、10項目の強調事項などの説明や、永井パストガバナーの挨拶、片岡パストガバナーより元RI会長のビチャイ・ラタクル氏がRI財団の委員長に就任し、その中でポリオプラスが20年間に亘り運動しているが、未だに絶滅していない、などの説明がありました。また、佐藤ガバナーの危機管理委員会について、坪田クラブ奉仕委員長のCLPについての説明がありましたが、これらはPETSの時と同じ話で目新しい説明はありませんでした。

午後の分科会でも、井上ガバナーエレクト、萩原パストガバナー、佐藤ガバナー、斎藤パストガバナーなどから説明がありましたが、その内容もほとんどPETSの時と同じでした。また、井上ガバナーエレクトが司会をするなど、内部で連絡がうまくいってないような印象を受けました。

内容の一部を報告しますと、横山次期会計長の次年度の予算案の説明があり全会一致で承認されました。また、公式訪問時の説明や規定審議会が開催され、4大奉仕部門が明文化されたこと、職業奉仕の説明で、Theyという言葉がWe SERVEにあたり、I SERVEの精神からはずれるので、He & Sheを使用する、などの変更がされました。

CLPについては、全体会では少人数のクラブが活用する説明でしたが、分科会では効率的なクラブになるための組織で中長期的な計画をもってクラブが行動しやすいための組織と若干ニュアンスが違い地区内で意思統一がされてない感じがしました。

危機管理委員会が新しく発足しましたが、これは留学生の怪我や病気に対するものではなく、アメリカでセクハラ問題が起き、賠償金が裁判で認められた事件がありそれらに対応する委員会のことです。

ガバナーの選出については、ガバナー・ノミニーは当該年度の24ヶ月から30ヶ月前選出すること、今後のガバナー選出は地区を5ブロックに分け、原則として順番で選出する。それにつれて地区大会や地区協議会なども輩出クラブの担当ではなく、ブロックで行う。

今年度のGSEは3月22日より地区に来、1・3・5・7分区が当番になります。

クラブ協議会についての取り組み方は、年6回開催すること、ガバナー補佐もなるべく参加するようになどの説明があり分科会が終了しました。

クラブ管理運営委員会 小島富雄次年度委員長

4月30日に行われました地区協議会クラブ奉仕 でありますところの、クラブ管理運営委員会の委員長として出席してまいりました。その時の報告をさせていただきます。

大串会長エレクトを始めとする出席義務会員12名と、午前8時事務所前より出発、9時到着受付、10時30分より本会議が始まり、佐藤ガバナーの挨拶、地区委員の紹介・・・セレモニーが行われました。

井上ガバナーエレクトより「ロータリーは分かち合いの心」のテーマと次年度



の方針が述べられ、ロータリー財団について、危機管理委員会について、クラブの運営について等々の説明があり、約2時間居眠りもせず熱心に聴いておりました。

本会議終了後、各分科会にわかれ昼食をとり午後の分科会にて勉強してまいりました。リーダーには龍ヶ崎中央の城出さん、司会者には当クラブ青木清人会員が。内容と致しましては、会員一人一人、各委員会お互いに責任を持つことによって良い結果が生まれる。「基本的な土壌である」と強調しておりました。また、出席、親睦、SAA、プログラム、会報、雑誌、IT、各委員会のなかで、特に出席については、例会出席は会員の義務であり、自分のためではなくて他の会員のためだといっておりました。出席率60%は救済であり、せめて70%例会出席をお願いしたい。「クラブ例会出席率はクラブ奉仕の第一歩である」と強調されておりました。この2点は課題ではなからうかと思えます。

最後に石塚IT委員からの話があり、インターネットによる広報伝達の素晴らしさを感じました。

朝の車中でのやる気のある勢いと、帰りの静けさは大変温度差を感じましたが、実のある地区協議会であったと思っております。

職業奉仕委員会 青木正弘次年度委員長



07 - 08年度方針「原点に還る Part 3 ロータリー哲学(理念)の理解と実践」 奉仕の心は循環する

『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる (They profit most who serve best)』 アーサー・シェルドン

ロータリーの基本精神が「奉仕」にあることは言うまでもないでしょう。しかし、ロータリーのいう奉仕とはどういうことでしょうか。一般的に奉仕とは、「他人のため、あるいは社会のために役立つ事をする」と考える事ができます。その幅は広く、市民の清掃奉仕から自分を犠牲にしても他人に尽くす人生に至るまで、その形は様々です。つまり、奉仕とは自分から他者に向けられた『善意の実践』ということができるでしょう。しかし、ロータリーが考える奉仕はそれだけではないのです。冒頭に掲げたアーサー・シェルドンのことばに拠れば、「奉仕する者は報われる」のです。つまり、他者に向けた善意は自分に還ってくるのです。

奉仕すなわち善意の実践は、波紋のように社会に広がり、それが信頼を生んでやがて有形無形に自分の利益となって還ってきます。「奉仕の心は循環する」のです。社会的な奉仕を行えば、精神的な喜びや満足などの無形の利益となって還ってきます。職業上の奉仕を行えば、やがて信用を生み、顧客や注文の増加などの実質的利益となって還ってきます。従って、ロータリー独特の概念である『職業奉仕』とは、世を益する理念であるとともに、「職業成功の実践原理」ということができます。そしていずれの場合にせよ、奉仕を先にするのです。「奉仕の心」が循環するのですから。ロータリーの先達は、この実践原理を『奉仕の理想』と呼び、ロータリー運動の基本理念としたのです。

さて、職業上の奉仕とは煎じ詰めると以下の二項になるでしょう。

第一に、職業とは社会に奉仕する手段であると考え、実践すること。(ロータリアンとしての信念の確立)

第二に、職業倫理を高めること。(四つのテスト、職業宣言の実践)

ロータリアン一人ひとりが、ロータリーとは何か、奉仕とは何かという事を、職業を通して理解し、実践できるよう支援することが職業奉仕委員会の使命です。

まず、**四つのテストと職業宣言の普及から始めましょう！**

新世代奉仕委員会 青木清人次年度委員長

クラブ管理運営委員会の分科会の司会役を不慣れながら務めさせていただきました。その為、新世代奉仕委員会の分科会は残念ながら出席出来ませんでした。その時の資料を熟読してみますと、次のようなことかと思えます。

- 1.ライラセミナーの実施 9月22,23,24日 中央青年の家
- 2.インターアクト、ローターアクト会員の増強・拡大

3.学校へのロータリオン講師派遣・生徒職場体験への支援体制の整え

社会奉仕委員会 山野井周一次年度委員長

4月30日 京成ホテル3F 13:10～15:10 古河東RC 松永リーダー

講話「私のクラブの社会奉仕活動の良かった点・反省すべき点」

品田氏（下館紫水RC） 三枝氏（取手RC） 桜井氏（那珂湊RC）

講演 ローター財団 清水氏（ひたちなかRC）

「地区補助金申請書の上手な書き方」について

ロータリーとしては継続が良い！

財団としては3年続けるとイエローカード？

5年続けるとレッドカード？

*長と面談しどういふ方針でいくかを聞いて活動方針をまとめるように。

次回8月4日 ホテルレイクビュー水戸 10:00 各クラブ 3分で全員発表という話がありました。

米山奨学会 白井 豊次年度委員長

他の委員会は国際組織として動いている委員会ですが、米山に限りましては日本独自の奨学金制度であり、皆さん誤解をしているという話がありました。戦後国際ロータリーに復帰した時に、何かということで起こした委員会である。

日本は34地区に分かれておりますが、一人当たりの寄付で見ますと、2820地区は最高で3位、最低でも10位というように常に上位を占めております。

この委員会はお願いの委員会でありますので、今年もご協力お願いします。

2820地区ホームページ運営委員 石塚克己委員

分科会ではクラブ管理運営委員長の城出さんが約1時間20分、HP 管理運営委員長の神原さんが40分の時間配分で持ちきりしました。私の所属する HP 運営委員会では神原委員長が RI、Japan そして2820地区のホームページの紹介とその活用方法を説明されました。

地区委員として発言（発表）の場があり、水戸 RC の鈴木委員がホームページにおけることば、語句の使用について差別用語、肖像権、著作権について説明がありました。

・私はこれまでの地区 HP や神原委員長との関わり、そして次期、井上年度に向けて、更なる情報が一目で分かるような HP 作り、項目、ページを増やしていくことをお伝えし、情報のご協力を参加ロータリアンにお願いしました。



出席報告（染谷正美委員長）

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
49名	36名	13名	0名	12名	97.96%

ニコニコボックス（登坂 寛SAA）

入金計 ￥59,000 累計 ￥1,927,000

今度新しく入会させていただきました。宜しく願い致します。 和田会員

今回ロータリークラブに入会させていただきましたき有難う御座います。 二本松会員

誕生祝御礼 会員 熊谷・青木(清)・登坂 各会員 配偶者 草間・大串・青木(全) 各会員

二本松様、和田様、ようこそ。よき仲間になりましょう。鈴木豊次年度ガバナー補佐に、スピーチについて褒められました。 松村会員

二本松様、和田様、ご入会おめでとう御座います。 青木(正)会員

和田様、二本松様、ご入会おめでとう御座います。ご活躍くださいますよう祈念いたします。 松坂会員

地区大会そして先週の例会休みました。 島田会員

和田様、二本松様、ようこそ。 染谷(正)会員

地区協お疲れ様でした。一人“ゴホンゴホン”とセキの騒音を出していましたが、連休前に峠を越したよう
で嬉しい限りです。 石塚(克)会員
その他 山野井・横山 各会員
例会欠席しました。 染谷(昭)会員

会報委員会 委員長 角田雅宣 副委員長 北村 仁 委員 山崎善市



瀬戸会員と白井会員も参加しております。